

令和五年度（第四十二回）定時総会（理事長挨拶）

理事長の中川です。

本日は、丸亀市シルバー人材センター第四十二回定時総会を開催致しましたところ、役員並びに会員の皆様方のご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。とうございます。

総会案内状にも触れさせていただきましたが、今年度の総会も、新型コロナウイルス感染防止対策として、昨年と同様に会場を当センター会議室に、規模を大幅に縮小して、開催させていただきました。

また、今年に入り、香川県の新型コロナウイルス新規感染者数は、一月中旬以降、減少傾向が続いているものの、今月に入っても県内では毎日数十人の新規感染者が発生している状況でございます。

本来ならばご来賓をお招きし、アトラクションなどを催し、会員の皆様にお楽しみいただきたかったですのですが、やむなく中止といたしました。

コロナウイルス感染防止に万全を尽くしつつ、何としても総会を開催し、成立させなければならぬとの苦渋の判断でございます。ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

さて、昨年度の活動の実績は、この後、議事の中で詳しくご説明させていただきますが、年度末の会員総数は、前年度から五人少ない九百八人でございます。

また、請負・委託・派遣合計の事業実績は、約四億七千二百五十九万円で、前年度比三・一%の増額となりました。

これは、年度当初では、減額もあり得ると考えておりましたが、下半期において、会員の皆様をはじめ、役員、職員全員が、コロナ禍での三密回避への取り組みは継続しつつ、発注者の活動状況をしっかりと把握し、ニーズにすばやく、的確に応えていただけただけの結果でございます。

現在、国では、今月八日から、新型コロナウイルスの感染法上の位置づけを季節性インフルエンザと同じ、五類感染症に変更し、県から県民・事業者への協力要請等が行われなくなりました。

しかしながら、依然として終息には至っていないことから、人との距離が十分取れずに会話をしなければいけない場合は、引き続きマスクの着用を推奨してまいりたいと思いますので、会員の皆さんご協力をお願いします。

一方で、感染者のほとんどの方が無症状か軽症であるため、医療のひっ迫具合を示す確保病床の使用率は十パーセント以下で推移し、重傷確保病床使用率は、ゼロに近い数字が続いていることから、催し物等も再開されていくものと思われます。

また、新しい税制度（インボイス制度）の導入が、本年十月から始まります。当センターといたしましては、免税事業者である会員との取引に関しては仕入控除ができないため、新たな税負担が発生します。この件に関しては、今後、できる限り事業運営に支障をきたさない、長期的な視点による対応策

の検討が必要となります。基本的な考え方としては、就業を通じ地域に貢献しようとする努力している会員の意欲を削ぐことが無いよう、最大限の努力をしいきたいと考えております。

シルバー事業を維持・発展させるためには、言うまでもなく会員の増強が重要でありますので、本年度は、各コミュニティなどで催し物が再開されておりますことから、積極的に参加し、「チラシ配布による会員勧誘」等の積極的な活動を行い、これまでに以上に組織を挙げて会員の確保に取り組んでまいります。

本日の議事は、「令和五年度事業計画及び収支予算等の報告」など報告事項三件と、「令和四年度事業報告及び収支決算」と、「役員を選任」の決議事項三件となっております。

スムーズな議事進行に努めますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員皆様方の今後ますますのご健勝・ご多幸をご祈

念申し上げ、私の挨拶といたします。